

厚別中央市民交流広場・科学館公園 の再整備に向けて

目次

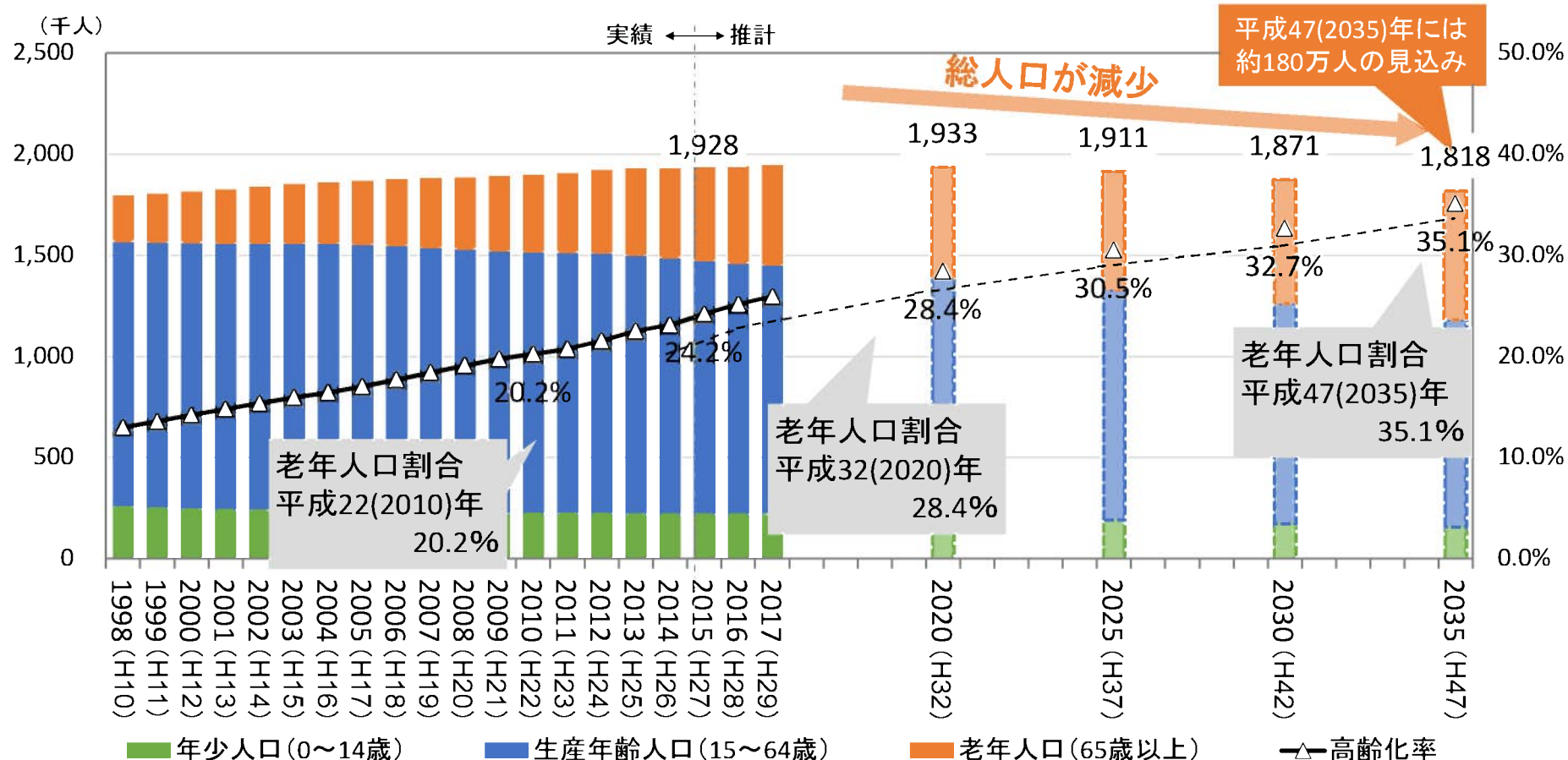
1. 基本事項
2. 広場の利用状況
3. 周辺開発の状況
4. 現況と老朽化

1. 基本事項

(1) 札幌市の人口

札幌市の人口推移

- 2017年(約194万人)が人口のピークとなり、減少すると見込まれている。
- 2035年の推計は、約180万人まで減少すると見込まれる。
- 老年人口(65歳以上)の割合は2035年で35.1%にまで増加し、3人に1人以上が高齢者と推計されている。



区別の人口の状況

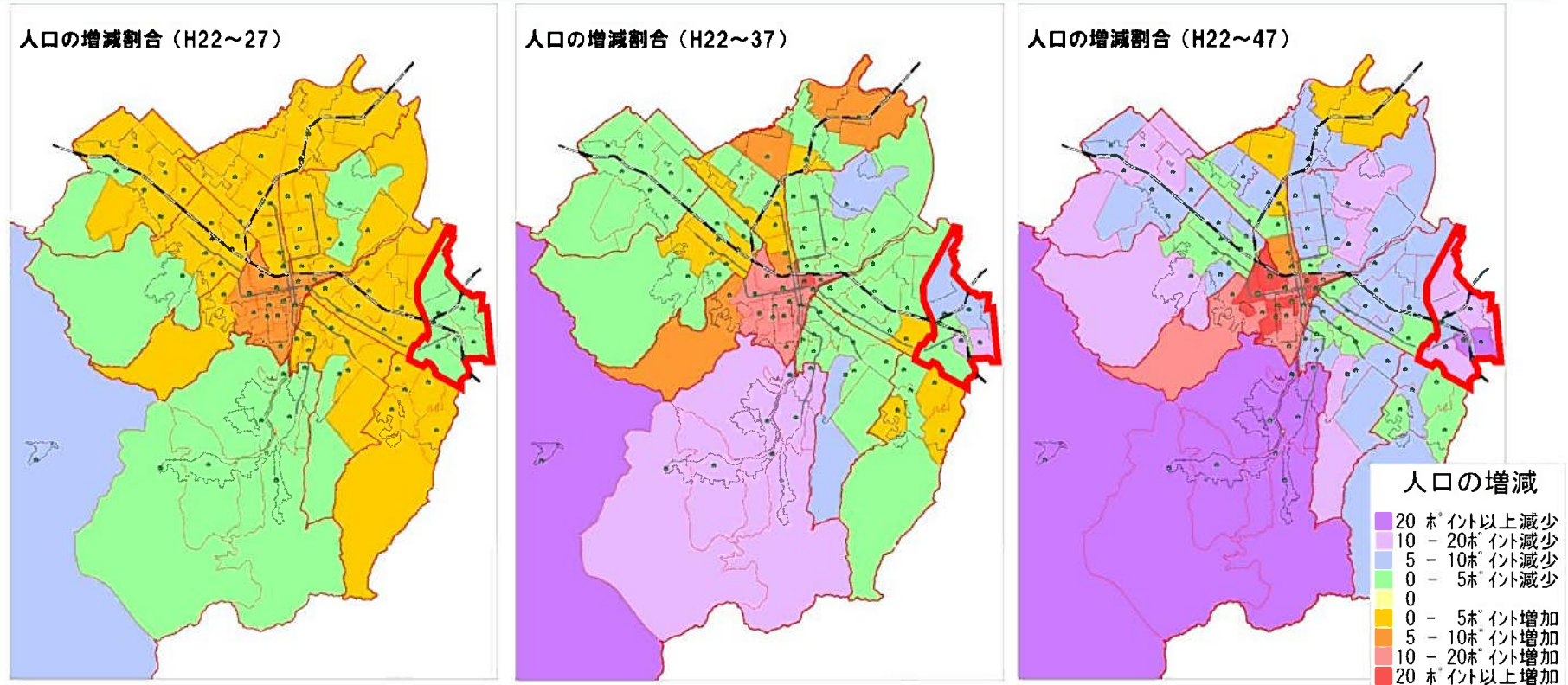
- 区別の人口は、中央区のみ増加傾向にあり、南区と厚別区では既に減少に転じている。
- 東・白石・豊平・手稲区は2020年頃、西区は2025年頃、北・清田区は2030年頃に減少に転じる見込みである。

	2015 (H27)		2016 (H28)		2017 (H29)		2020 (H32)		2025 (H37)		2030 (H42)		2035 (H47)	
	人口	人口	2015対比	人口	2015対比	人口	2015対比	人口	2015対比	人口	2015対比	人口	2015対比	
札幌市	1,941,849	1,947,705	100.3%	1,950,786	100.5%	1,933,000	99.5%	1,911,000	98.4%	1,871,000	96.4%	1,818,000	93.6%	
中央区	230,274	232,073	100.8%	233,148	101.2%	246,400	107.0%	254,200	110.4%	259,300	112.6%	262,100	113.8%	
北区	283,331	284,706	100.5%	285,042	100.6%	286,500	101.1%	285,200	100.7%	281,400	99.3%	275,200	97.1%	
東区	259,839	261,318	100.6%	261,745	100.7%	254,700	98.0%	250,500	96.4%	244,300	94.0%	236,400	91.0%	
白石区	210,498	211,402	100.4%	211,754	100.6%	204,700	97.2%	201,900	95.9%	197,400	93.8%	191,600	91.0%	
厚別区	129,122	128,230	99.3%	127,920	99.1%	124,700	96.6%	120,900	93.6%	115,900	89.8%	110,000	85.2%	
豊平区	219,012	219,979	100.4%	220,670	100.8%	212,100	96.8%	208,700	95.3%	203,700	93.0%	197,400	90.1%	
清田区	114,977	115,267	100.3%	115,017	100.0%	118,400	103.0%	117,100	101.8%	114,700	99.8%	111,300	96.8%	
南区	140,997	139,982	99.3%	139,987	99.3%	133,900	95.0%	126,200	89.5%	117,800	83.5%	108,700	77.1%	
西区	212,579	213,253	100.3%	213,817	100.6%	213,400	100.4%	210,500	99.0%	205,700	96.8%	199,300	93.8%	
手稲区	141,220	141,495	100.2%	141,686	100.3%	138,600	98.1%	135,500	95.9%	131,200	92.9%	125,700	89.0%	

実績 ← → 推計

地区別の人口の状況

- 10年後(H37年度)は、都心部や北区、清田区の一部を除き人口減少に。
- 20年後(H47年度)は、より一層人口減少地区が拡大。



地域の差が顕著に！

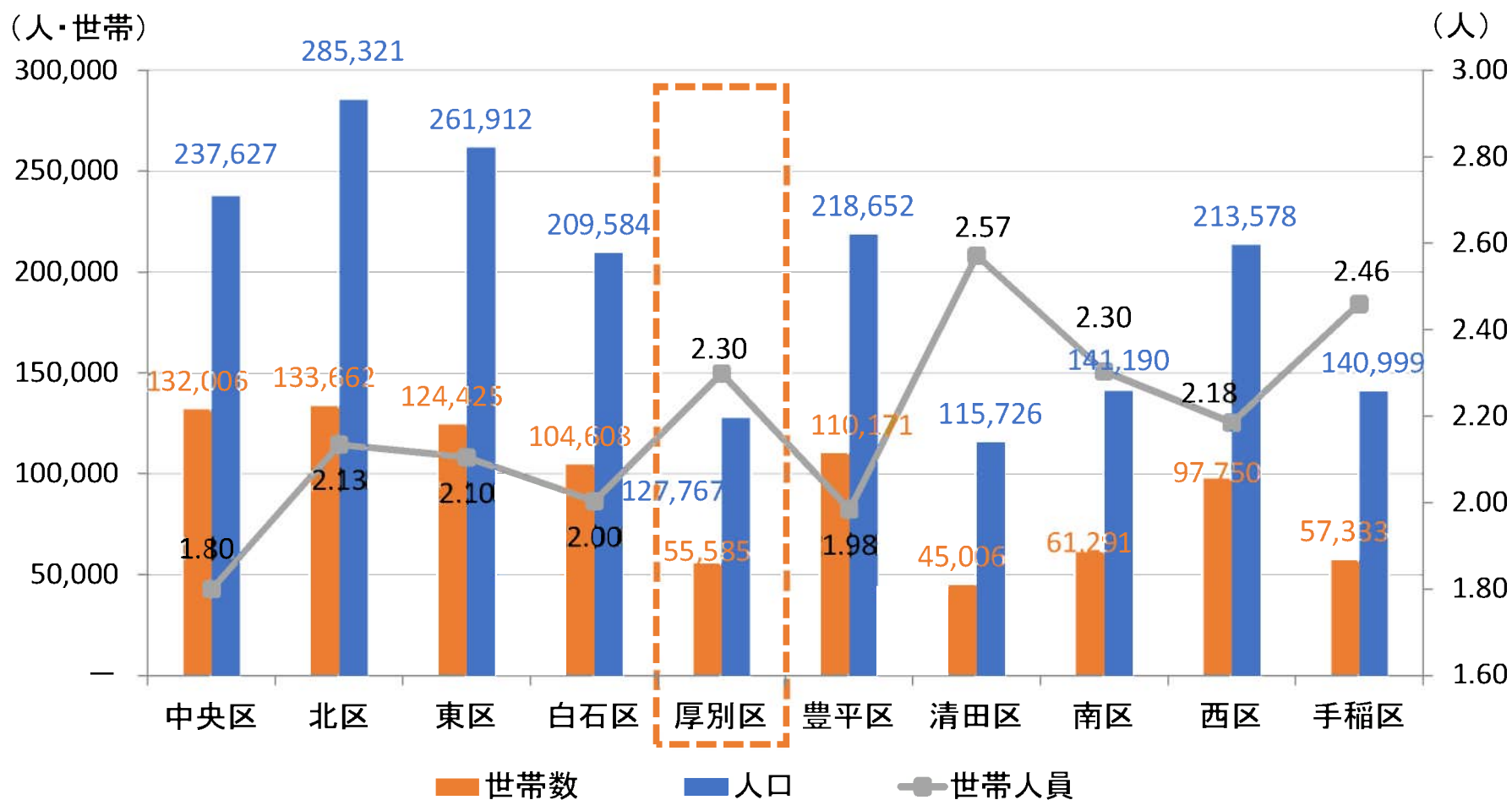
出典：将来推計人口に基づく地域分析調書(札幌市)

1. 基本事項

(2) 厚別区の人口

厚別区の人口・世帯数

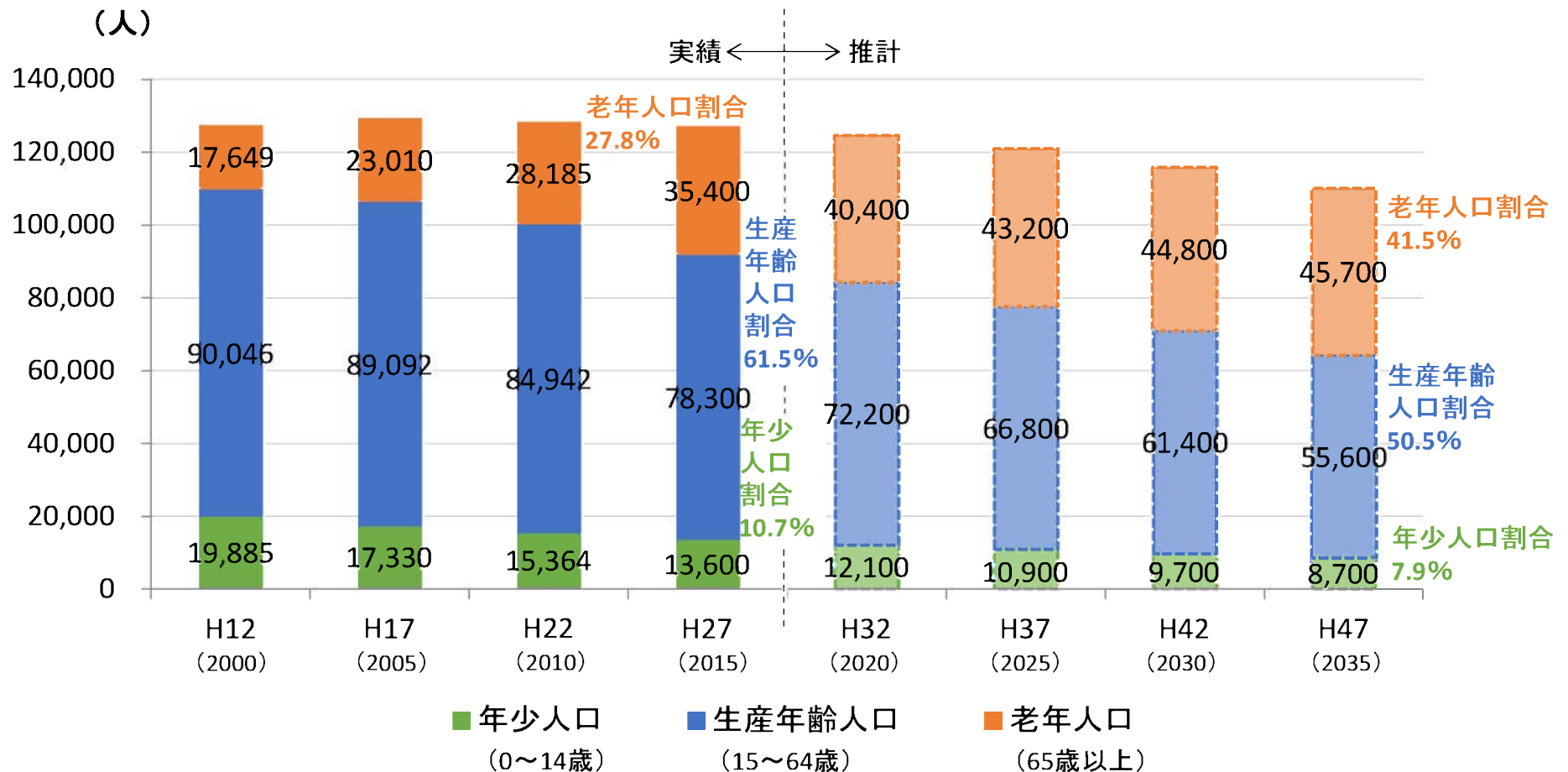
- 世帯数は、約5万5千世帯となっている(札幌市10区のうち、下から2番目の世帯数)。
- 人口は、約12万7千人となっている(市内10区のうち、下から2番目の人口)。
- 1世帯あたり人口は、2.30と全区で3番目に多い。



※出典: 国勢調査(平成27年確報値)

厚別区の人口区分別の推移・将来推計

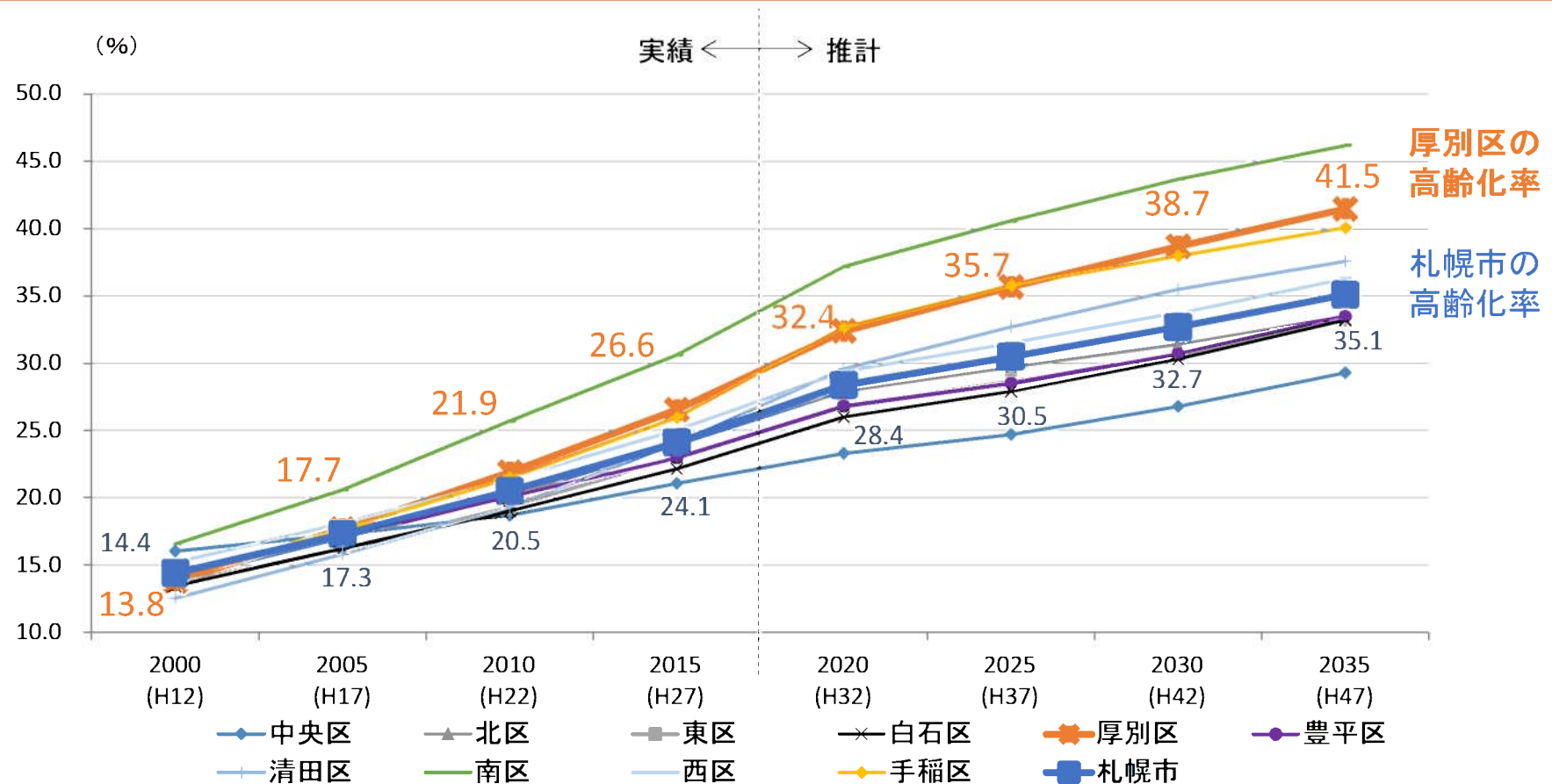
- 厚別区の将来人口は、平成27年から平成47年までに約1万8千人減少すると推計されている。
- 生産年齢人口は約3割の減少に対し、老年人口は1.2倍に増加する予想。



※出典:国勢調査 小地域集計結果、将来推計人口に基づく地域分析調査(札幌市)

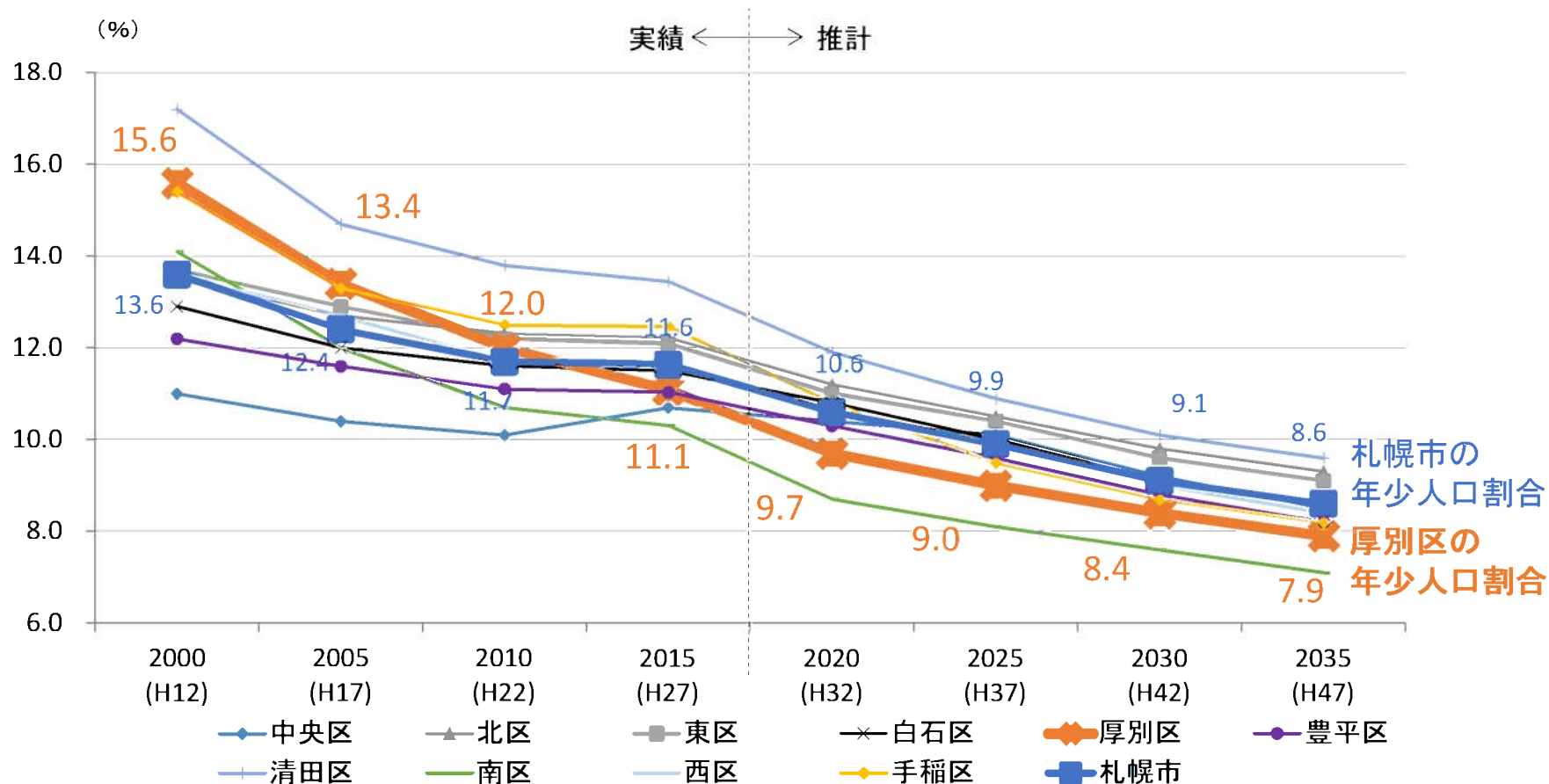
厚別区の高齢化の状況

- 平成12年には札幌市で2番目に低かった高齢化率の割合が、その後の10年で2番目に高い数字まで増加している。
- 平成47年には41.5%まで増加し、札幌市、厚別区共に、平成27年と47年を比較すると約1.5倍に増加すると推計されている。



厚別区の少子化の状況

- 平成12年には札幌市で2番目に高かった年少人口の割合が、その後15年で3番目に低い割合に減少している。
- 平成47年には8.6%まで減少し、札幌市、厚別区は共に、平成27年と47年を比較すると約3割減少すると推計されている。



1. 基本事項

(3) 公共交通機関・周辺施設等の現状

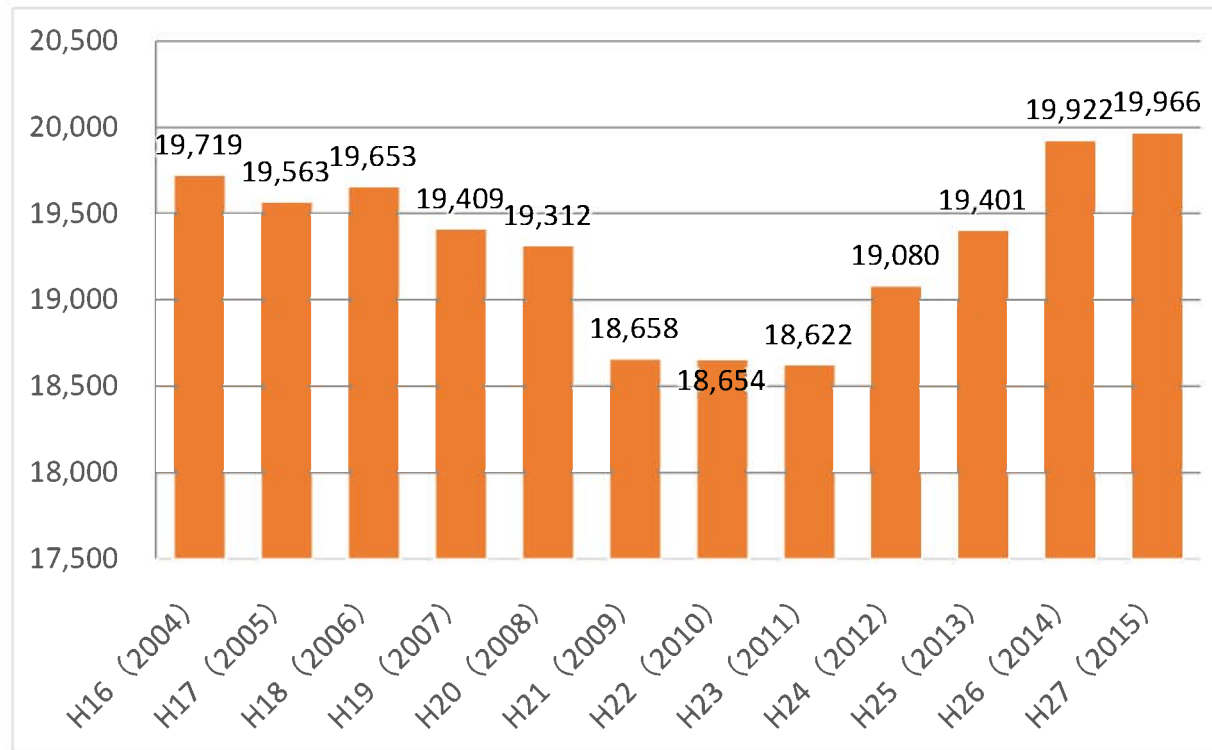
周辺施設との位置関係



地下鉄駅の利用状況

- 地下鉄新さっぽろ駅の1日平均乗車員数は平成24年から増加傾向にあり、札幌市営地下鉄の中では、さっぽろ駅、大通駅、麻生駅に次いで4番目に多い。

地下鉄「新さっぽろ」駅 乗車人員の推移(1日平均)



道内主要駅の乗車人数上位10駅(平成27年度)

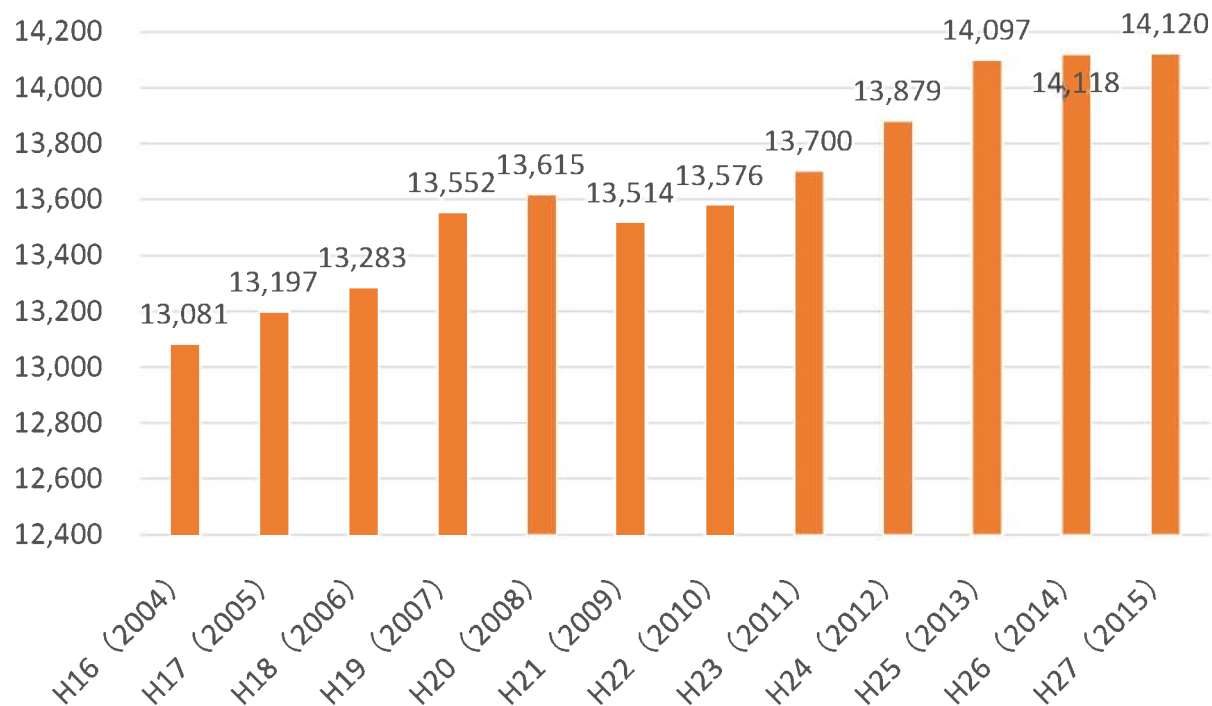
位	駅名	乗車人員(人/日)
1	さっぽろ	85,299
2	大通	76,736
3	麻生	20,658
4	新さっぽろ	19,966
5	福住	17,048
6	すすきの	16,971
7	西11丁目	15,524
8	西18丁目	15,505
9	円山公園	14,601
10	北24条	13,897

出典:札幌の都市交通データ(札幌市)

JR駅の利用状況

- JR新札幌駅の利用者数は年々増加傾向にあり、道内のJR駅の中で札幌駅、手稲駅、新千歳空港駅に次いで4番目に多い。

JR「新札幌」駅 乗車人員の推移(1日平均)



道内主要駅の乗車人数上位10駅(平成27年度)

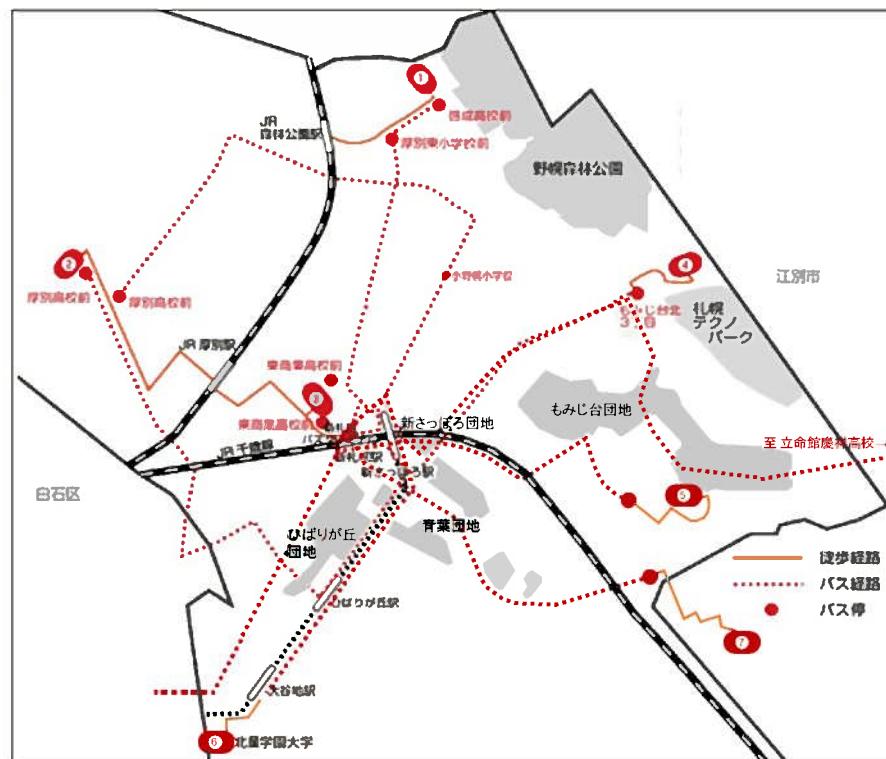
位	駅名	乗車人員(人/日)
1	札幌	95,288
2	手稲	15,335
3	新千歳空港	15,066
4	新札幌	14,120
5	琴似	11,518
6	桑園	10,084
7	小樽	8,973
8	千歳	8,623
9	白石	7,928
10	北広島	7,605

出典:札幌の都市交通データ(札幌市)

厚別区内の高校・大学生の利用経路

- 厚別区内には高校が5校（公立高校3校、私立高校2校）と大学が1校である。
- 大学は地下鉄沿線となっているが、高校は新さっぽろ駅周辺を核とするバスネットワークがアクセスの中心である。

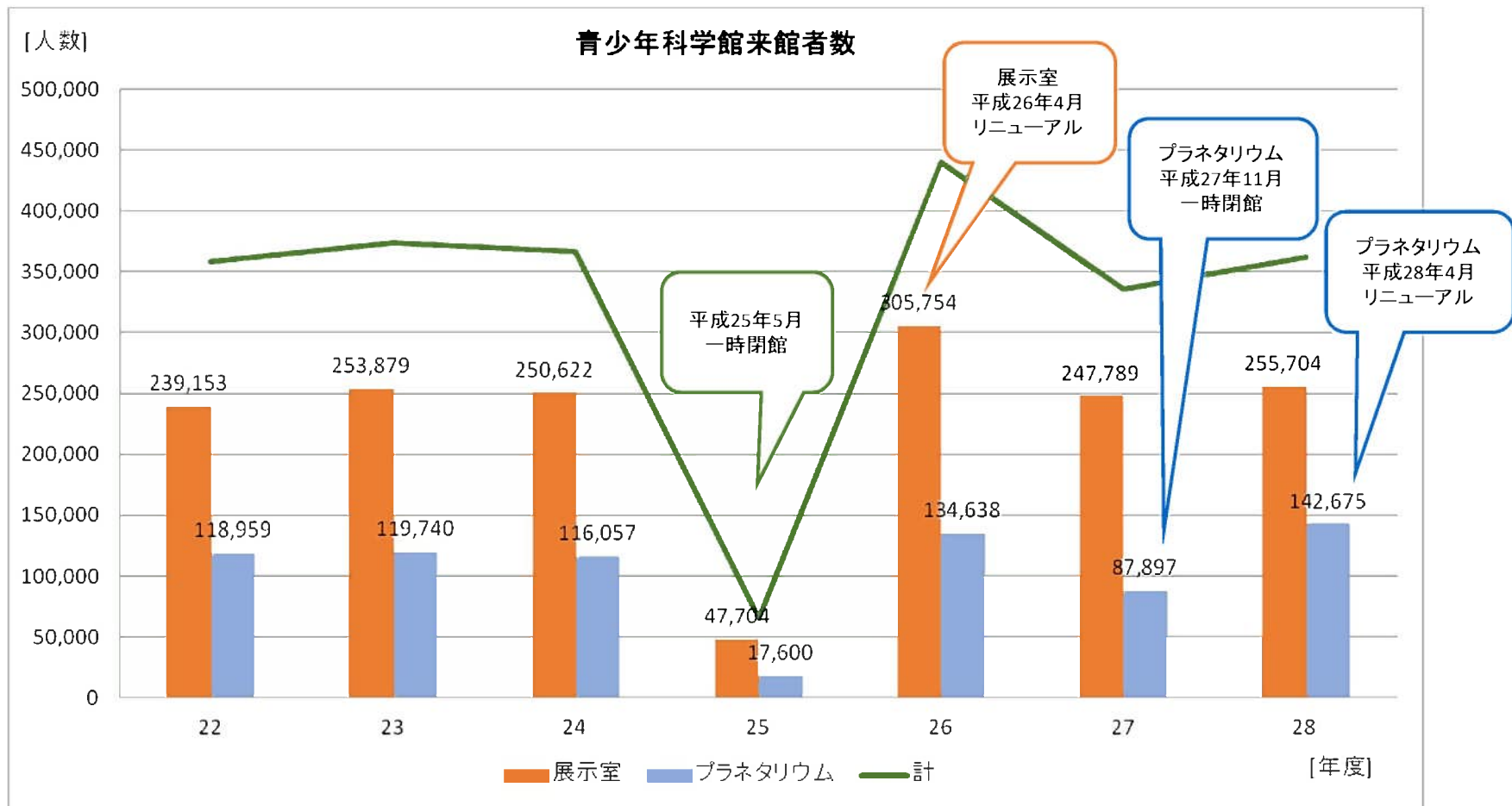
	高校・大学名	在校生徒数		バス利用経路 (平日朝7:30~8:30の便数)
①	札幌啓成高等学校	953	公立	○新札幌バスターミナル→啓成高校前(3便) ○新札幌バスターミナル→厚別東小学校前(13便)
②	札幌厚別高等学校	835	公立	○新札幌バスターミナル→厚別高校前(6便)
③	札幌東商業高等学校	947	公立	○新札幌バスターミナル→東商業高校前(8便)
④	北星学園大学附属高等学校	680	私立	○新札幌バスターミナル→もみじ台北3丁目(13便)
⑤	星槎国際高等学校 (広域通信制高校)	全国 6,390	私立	○新札幌バスターミナル→もみじ台西2丁目(4便)
⑥	北星学園大学	801	私立	○新札幌バスターミナル→北星学園通(8便)
⑦	札幌日本大学高等学校 (北広島市)	1,192	私立	○新札幌バスターミナル→(もみじ台団地行き)青葉通橋
⑧	立命館慶祥高等学校 (江別市)	1,474	私立	○新札幌バスターミナル→(もみじ台団地経由、青葉町経由)スクールバス(16便)



※在校生徒数の出典：北海道教育委員会ホームページ（平成29年6月）

青少年科学館利用者の推移

- 展示室、プラネタリウムのリニューアル完了（平成25～平成27年度）
- 平成28年度からプラネタリウムのプログラム刷新や、新イベントの展開などにより、利用者の増加を図る。



サンピアザ水族館・劇場利用状況

- サンピアザ水族館の入館者数は、平成27年度に比べて28年度は増加し、約15万5千人が来館している。主な特別展の中では、夏休み特別展の来館者数が最も多い。
- サンピアザ劇場の入館者数は、平成25年度から増加傾向にあり、平成28年度には約1万8千人来館している。

サンピアザ水族館 入館者数

	H26年度	H27年度	H28年度
大人	97,620	97,957	102,489
子供	51,588	50,284	53,158
計	149,208	148,241	155,647

	H26年度	H27年度	H28年度
GW特別展	13,813	13,362	17,400
夏休み特別展	31,534	28,470	29,001
秋の特別展	18,466	9,306	13,499
冬休み特別展	8,886	11,168	12,573
春休み特別展	9,589	11,352	14,944

サンピアザ劇場 入館者数

	H26年度	H27年度	H28年度
コンサート	2,199	2,522	3,581
演奏会・発表会	798	4,060	6,356
ピアノ発表会	254	1,322	932
講演会・研修会	1,626	1,588	1,056
落語会	3,505	762	400
カラオケ	377	791	150
学生演劇	4,975	1,865	2,517
演劇	697	2,268	3,198
上映会	179	334	412
その他	560	0	0
計	15,170	15,512	18,602

	H26年度		H27年度		H28年度	
	稼働日数	稼働率	稼働日数	稼働率	稼働日数	稼働率
平日	74	30.2%	49	19.8%	64	25.9%
土日祝	85	70.8%	74	62.7%	84	71.2%
計	159	43.6%	123	33.6%	148	40.5%

サンピアザ光の広場利用状況

- 光の広場の平成28年度の利用状況は、243日間/年で、利用率66.6%となっている。
- 吹奏楽部コンサートや物産展などの催しを多数実施している。

内 容	日数	来場者数	内 容	日数	来場者数
札幌ポプラ会 発達障害啓発週間協賛イベント	1	300	かるちやるnet	1	300
桜庭和スプリングコンサート	1	250	由仁・栗山物産展②	2	2,300
ゆにガーデンオープニングフェア	2	3,000	厚別区民協議会 あつべつ食の文化祭	2	1,000
札幌市消防音楽隊119コンサート	1	400	青葉中学校合唱コンサート	1	300
国連UNHCR協会 難民支援キャンペーン	5	297	厚別東小学校ハンドベルコンサート	1	250
北星学園大学パネル展	2	600	第61回あつべつ菊花展	3	1,500
北星学園大学吹奏楽部コンサート	1	300	第7回みんなの！新さっぽろフォトコンテスト	6	3,000
ユニオンあすなるコンサート	1	150	気仙沼福幸マルシェ	4	4,000
二胡とピアノの演奏会	1	200	小規模作業所産品展示即売会	3	2,400
厚別社会福祉協議会①	5	800	飲酒運転根絶キャンペーン	1	100
行政書士・社会保険労務士による市民無料相談会①	2	83	110番の日	1	100
建築士の日 建築のお仕事体験inサンピアザ	2	1,353	お菓子の家づくりコンテスト	2	150
由仁・栗山物産展①	2	2,300	行政書士・社会保険労務士による市民無料相談会③	2	61
北広島高校書道パフォーマンス	1	350	江別第三中学校マンドリン部コンサート	1	200
北海道MANGA交流会	2	500	将棋大会	1	150
かるちやるnet	4	1,000	札幌東商業高校 つくしこコンサート	1	300
さっされん	2	2,000	札幌市立共栄小学校スクールバンド	1	300
絵画展口と足で表現する世界の芸術家たち	3	600	はばたけ「あつべつっ子」パネル展	2	400
デュオカルチャースクール秋の作品展	4	800	芸術の森イベント	1	500
あつべつ健康福祉プレフェスタ	1	200	厚別・歴史写真パネル展	3	1,500
行政書士・社会保険労務士による市民無料相談会②	2	64	信濃中&信濃中OBバンド吹奏楽コンサート	1	300
第7回北海道高等学校 商業教育フェア	2	8,000	街かどクイック法律相談会	1	20
第32回厚別盆栽展	3	1,500	あすなるチャリティコンサート	1	120
スーパーサイエンススクール啓成高校	1	300	道警音楽隊コンサート	1	400
札幌日大高校吹奏楽部コンサート	1	500	計	95	45,498

【上記の他】

- 館内キャンペーン(46日)、イオン関連イベント(38日)、テナント関連イベント(43日)の定期的な開催(計127日間)
 ○選挙関連イベント(4月)、北海道お菓子フェア(6月)、GWイベント(5月)、夏休みイベント(8月)、まちのパンマルシェ(9月)、日本ハムファイターズトークショー(12月)、ソフトオープン(12月)、グランドオープン(12月)、新春イベント(1月)(合計21日間)の開催

合計利用日数: 243日

2. 広場の利用状況

広場(愛称：ふれあい広場あつべつ)の成り立ち

H2年度～

広場は札幌市の持ち物で、催しのたびに厚別区(地域)が借り受け、厚別区民まつりをはじめとしたイベントを実施していた。

H3年度～

連合町内会、また議会から、「厚別区の広場」として整備し、さらなるにぎわい創出を要望する声上がる。

H7年度

厚別区の広場として整備することを正式に決定し、各種イベントに対応できるステージやパーゴラ、水栓設備等を整備。

【当時の広場利用の考え方】

- ◆公園としての一体整備よりも、利活用に制限を受けづらい多目的広場として整備することで、にぎわいを創出することができる
- ◆市(区)が主体とするイベントを企画運営するだけでなく、町内会などの住民組織主体の行事、大学・サークルの野外活動などの公的団体主体の行事、リサイクル市など市主催行事との連携など、積極的な活用を目指す

噴水広場(愛称：キラキラ広場)の整備

H21年度～

- 厚別区の20周年事業として、公園北側に噴水の広場を整備
- 仕様の検討にあたってはワークショップなどを実施
- 愛称の「キラ☆キラ広場」は公募により決定



平成28年度の広場の主な利用実績

	イベント名	規模	参加予定人数	概要
1	ノルディックウォーキング体験講座	小	40	2本のポールを持って歩くノルディックウォーキングの体験講座
2	消防団訓練	小	50	厚別消防団による消防総合訓練大会
3	大工のゆうさんと遊ぼう	小	100	木を使い、子どもから大人まで楽しめるおもちゃづくりなどを実施
4	区民交流ウォーキング大会	小	130	区民の健康づくりとウォーキングによる交流を促進
5	被災地に届け！新札春祭り	小	200	全国のB級グルメブースなどを展開
6	総合訓練大会	小	200	区内の消防団員の訓練大会や、防災グッズ等の啓発を実施
7	エイサーページェント	小	500	沖縄伝統芸能であるエイサー体験、関連飲食ブースなどを展開
8	フリーマーケット	中	1000	市民が多く集うフリーマーケット。平成28年は5回開催。
9	子育てふれあいサマーフェスタ	中	1000	水遊び・昔遊びなど、乳幼児から小学生まで楽しめる夏祭り
10	OG-1グランプリ	中	1000	札幌おやじネットワークによるグルメNO.1決定戦イベント
11	夢市場あつべつ	中	1400 ～ 2500	ごみの減量とリサイクル意識の啓発を目的とし、フリーマーケットを中心に開催
12	あつこい	大	3000	YOSAKOIソーラン祭りの新さっぽろ会場
13	新さっぽろ冬まつり	大	3800	雪のすべり台やかまくら、雪遊びコーナーのアトラクションを展開
14	子どもまつり	大	4000	キッズダンスや吹奏楽、出店コーナーなど子どものお祭り
15	区民まつり	大	70000	各種ステージイベントや飲食ブースが展開される厚別区最大の催し

〔規模について〕

小：小規模イベント 参加者数 ～1,000人程度
 中：中規模イベント 参加者数 1,000～3,000人程度
 大：大規模イベント 参加者数 3,000人程度～

※複数回開催しているイベントあり
 ※参加予定人数は申込時の申請人数

大規模なイベントの様子①

【あつこい】



【新さっぽろ冬まつり】



大規模なイベントの様子②

【子どもまつり】



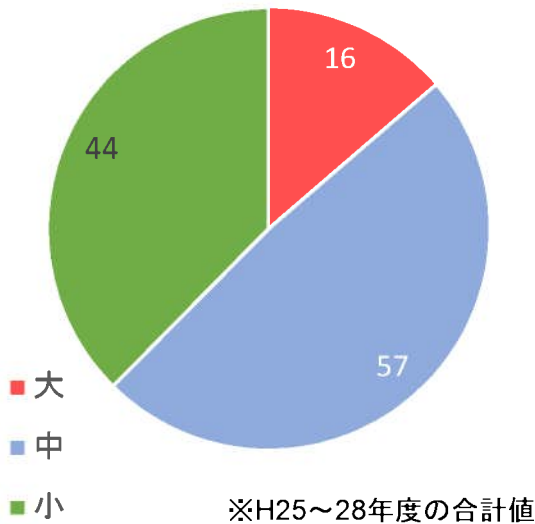
【区民まつり】



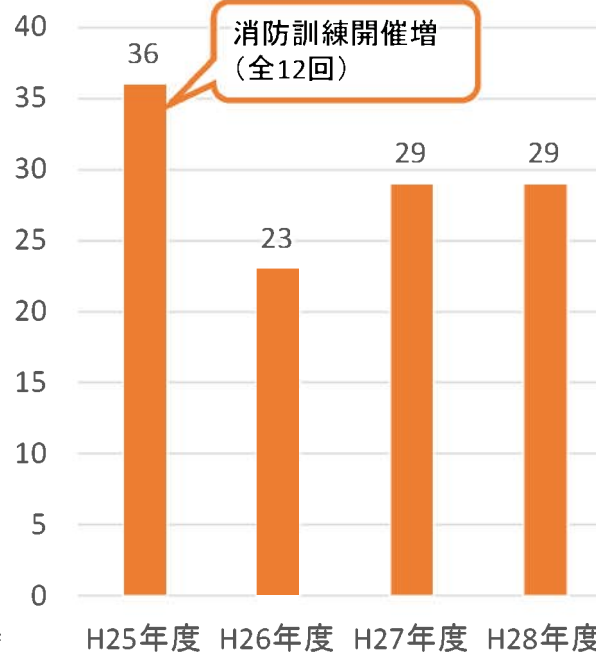
広場の利用率

- 広場の利用件数は、中規模のイベントが全体の半数以上を占めている。(規模別件数参照)
- 広場でのイベント件数は、平成26年度より増加している。(件数の推移参照)
- 規模別の広場利用日数は、小規模のイベントが最も多い。平成27年度には、民間主体のお祭り(27日間)により小規模イベントが大きく増加したが、平成28年度にはそれが5日間となったため、減少している。(規模別広場利用日数の推移参照)

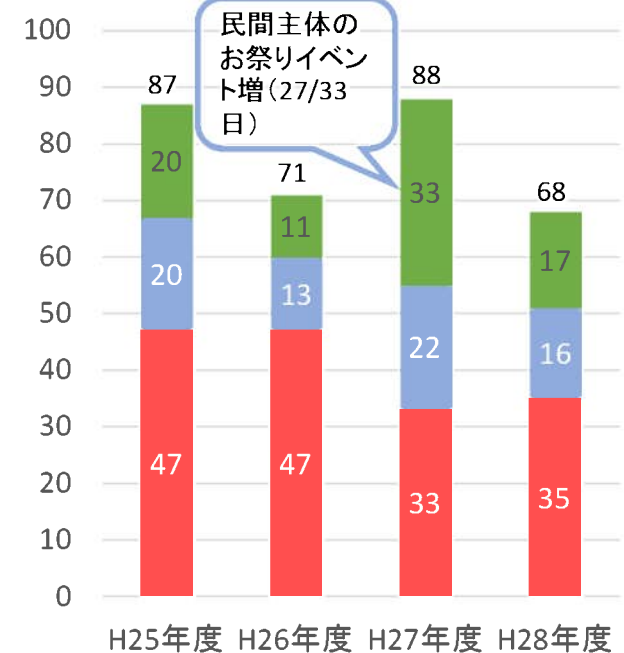
規模別件数



件数の推移



規模別広場利用日数
(準備日を含む)の推移



〔規模について〕

小：小規模イベント 参加者数 ～1,000人程度
 中：中規模イベント 参加者数 1,000～3,000人程度
 大：大規模イベント 参加者数 3,000人程度～

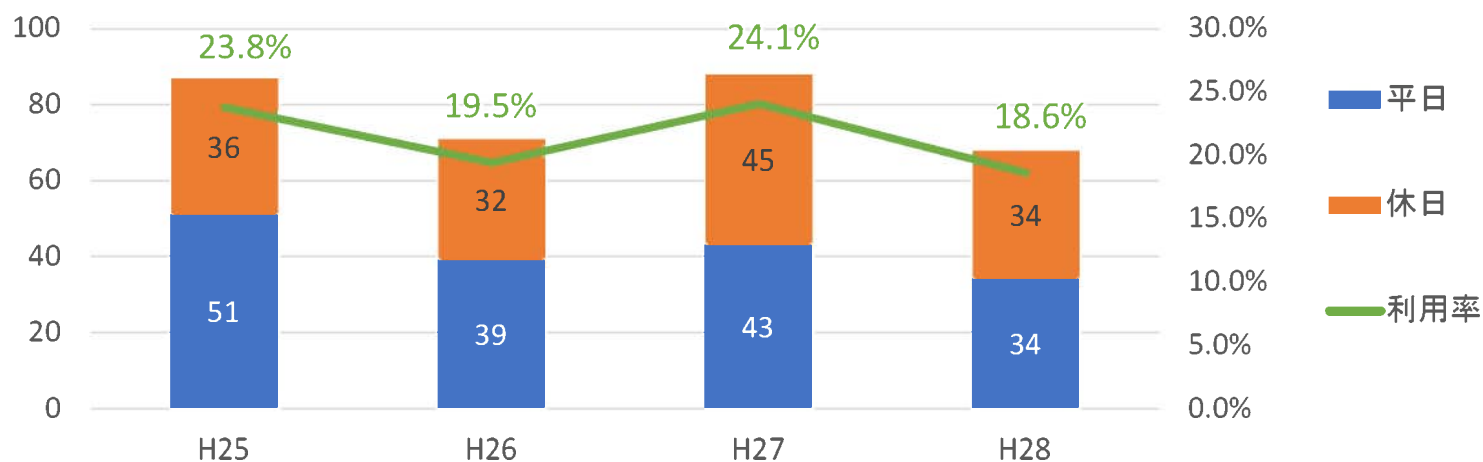
広場の利用率

- 平成28年度の広場利用日数は68日で、利用率は18.6%である。

		1年間	H25年度		H26年度		H27年度		H28年度	
		全体日数	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率
広場利用日 (準備日 含む)	平日	248	51	21.0%	39	16.0%	43	17.7%	34	14.0%
	休日	117	36	29.5%	32	26.2%	45	36.9%	34	27.9%
	計	365	87	23.8%	71	19.5%	88	24.1%	68	18.6%

広場利用日数(準備日含む)

※年間平日・休日数(年末年始含む)は、2017年度を採用。



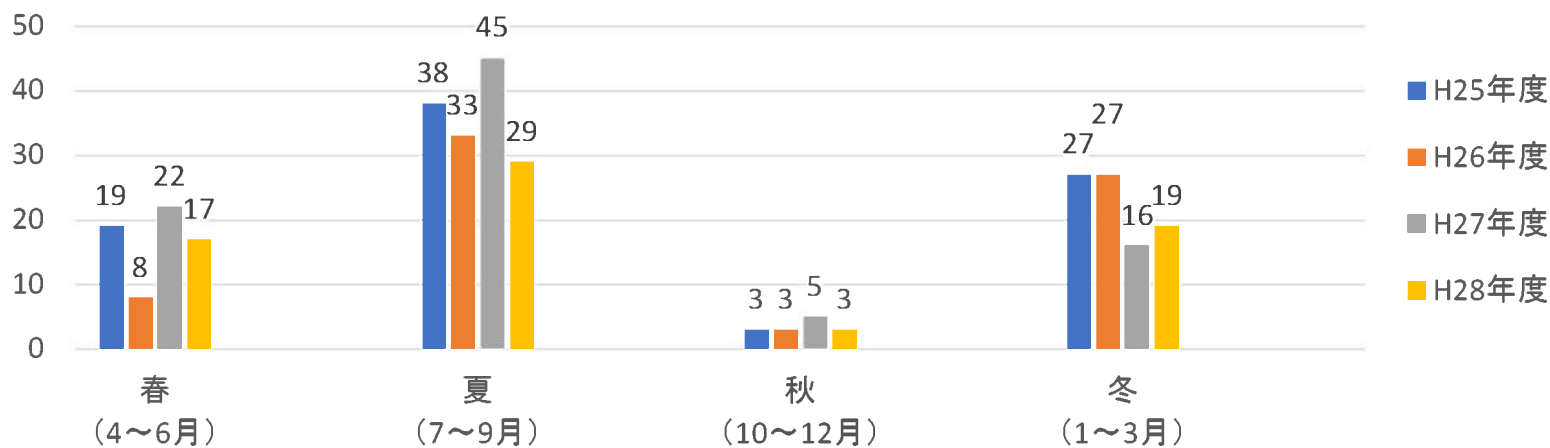
広場の利用率

- 季節毎に見た広場の利用日数は、夏(7~9月)が最も多く、秋(10~12月)が最も少ない。

		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度	
春 (4~6月)	平日	11	19	1	8	7	22	3	17
	休日	8		7		15		14	
夏 (7~9月)	平日	22	38	20	33	24	45	17	29
	休日	16		13		21		12	
秋 (10~12月)	平日	0	3	0	3	1	5	1	3
	休日	3		3		4		2	
冬 (1~3月)	平日	18	27	18	27	11	16	13	19
	休日	9		9		5		6	

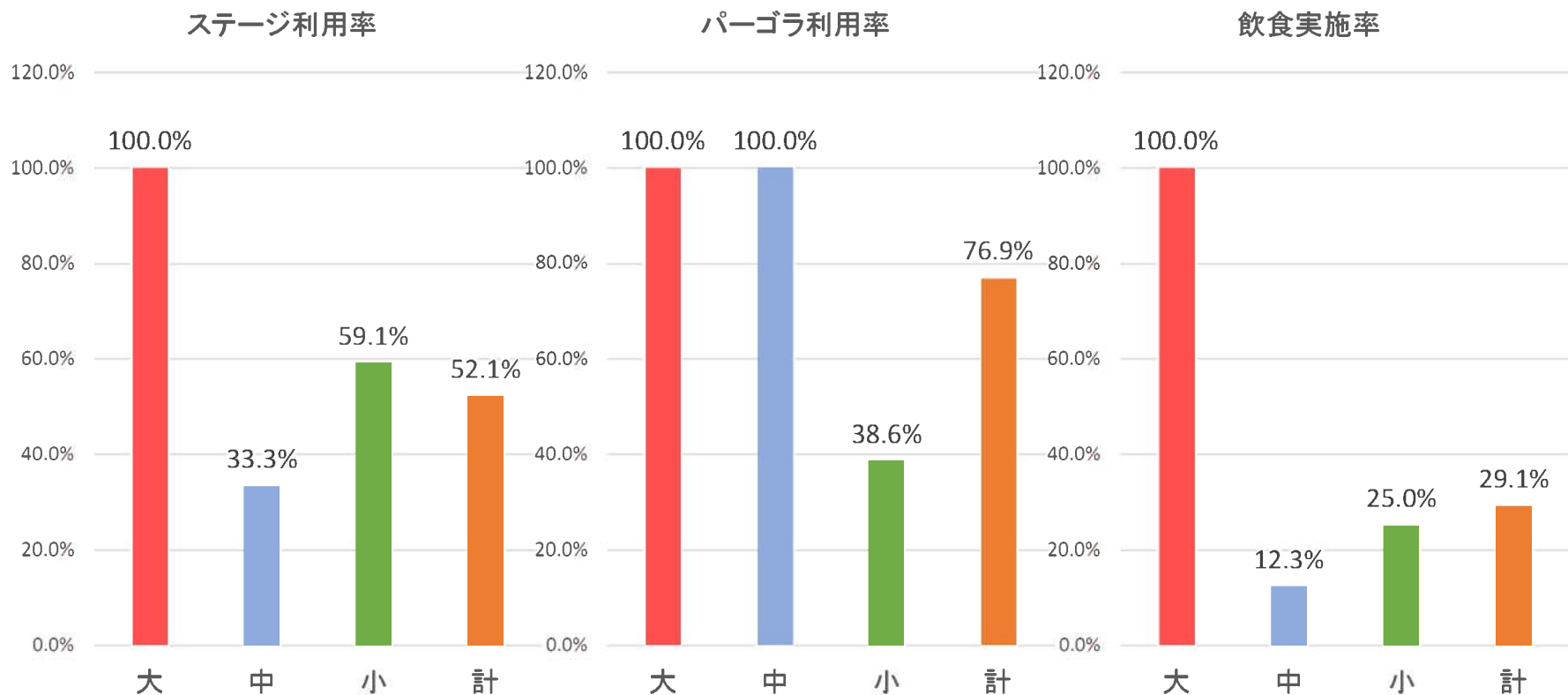
※年間平日・休日数(年末年始含む)は、2017年度を採用。

季節毎の広場利用日数



ステージ・パーゴラの利用率、飲食実施率

- ステージの利用率は、全体で見ると約5割となっているが、大規模のイベントでは必ず利用されている。
- パーゴラの利用率は、全体で見ると約8割弱となっており、大規模と中規模のイベントでは必ず利用されている。
- 飲食実施率は、全体で見ると約3割にとどまるが、大規模のイベントでは必ず実施されている。



※全て平成25～28年度の合計値

※出典：札幌市 29

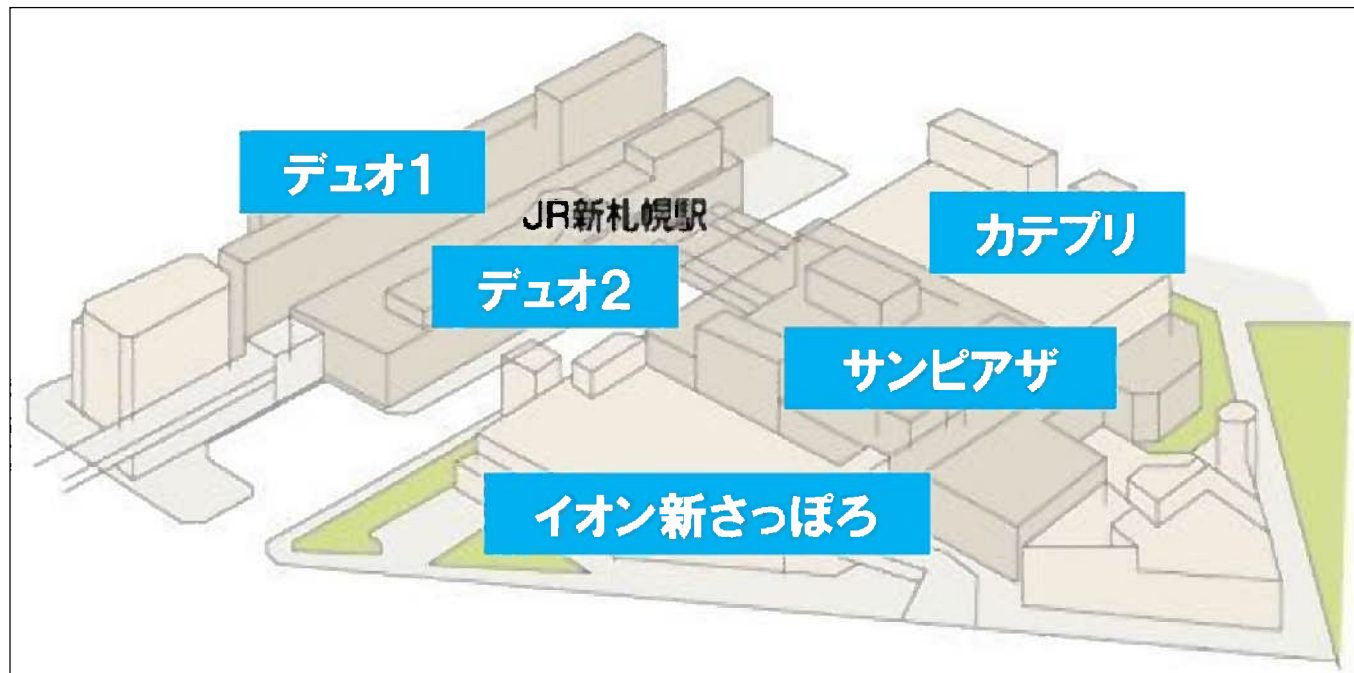
3. 周辺開発の状況

駅前商業施設のリニューアル

Sunpiazza duo QUALITE PRIX AEON

新さっぽろ駅前が生まれ変わる、40年目の“REBORN!”
『くらし、たのしく、あたらしく。』

自分の暮らしの中にあるしあわせを
お買い物やお食事で発見できれば、
新さっぽろはもっといきいきする。
そして、街や人に希望や元気が生まれる。



駅前商業施設のリニューアル

駅前商業施設としての利便性向上や、一体となったモール化による回遊性の向上を図り、食の充実とファッション消費の高い大人世代・ヤング、ファミリー世帯が満足する鮮度の高いテナント誘致



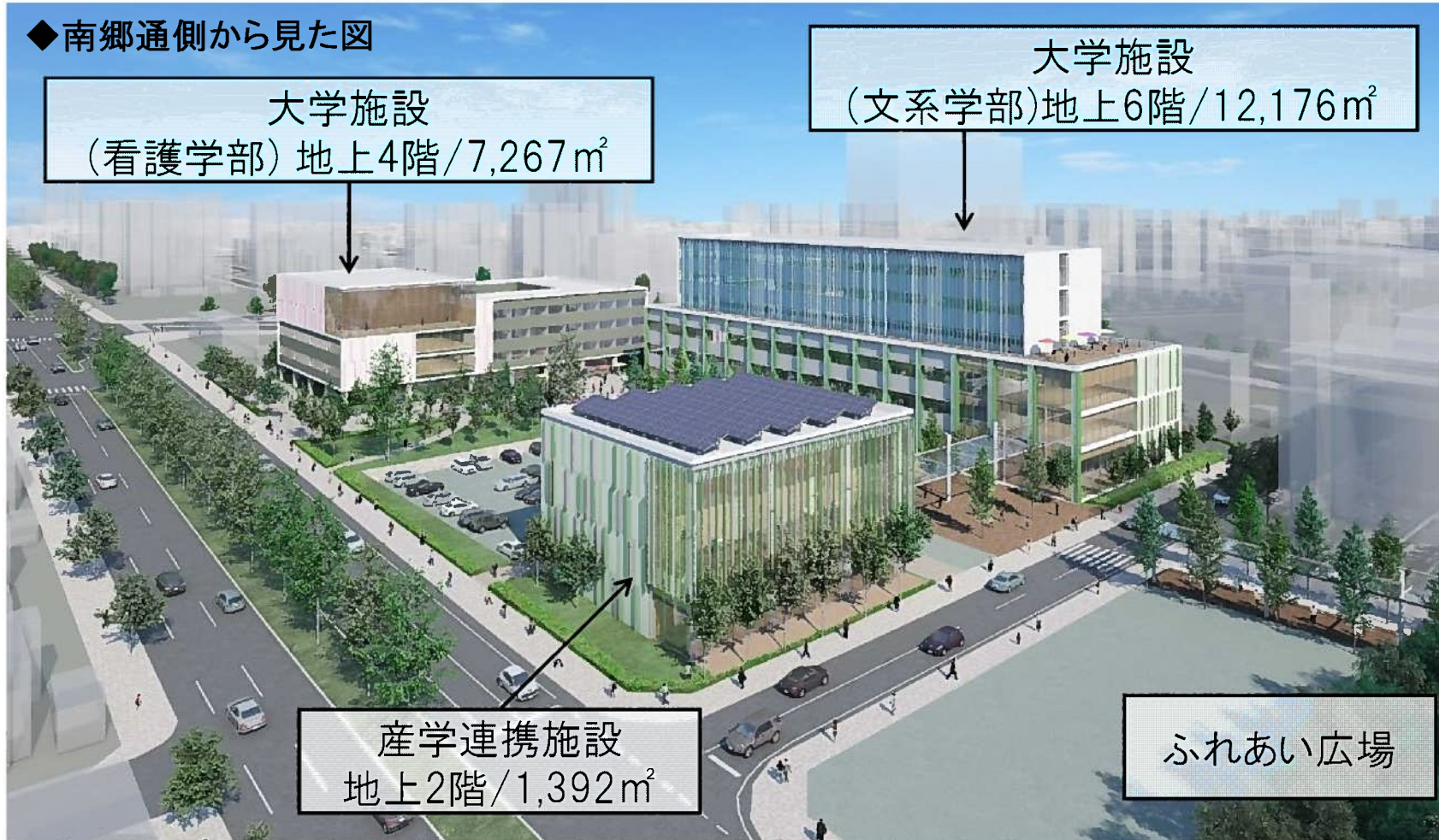
G・I街区(市営住宅団地跡地)の公募提案型売却の実施

⇒ 市営住宅の建替・集約化によって発生した開発可能地の公募を実施



G街区の開発（イメージパース）

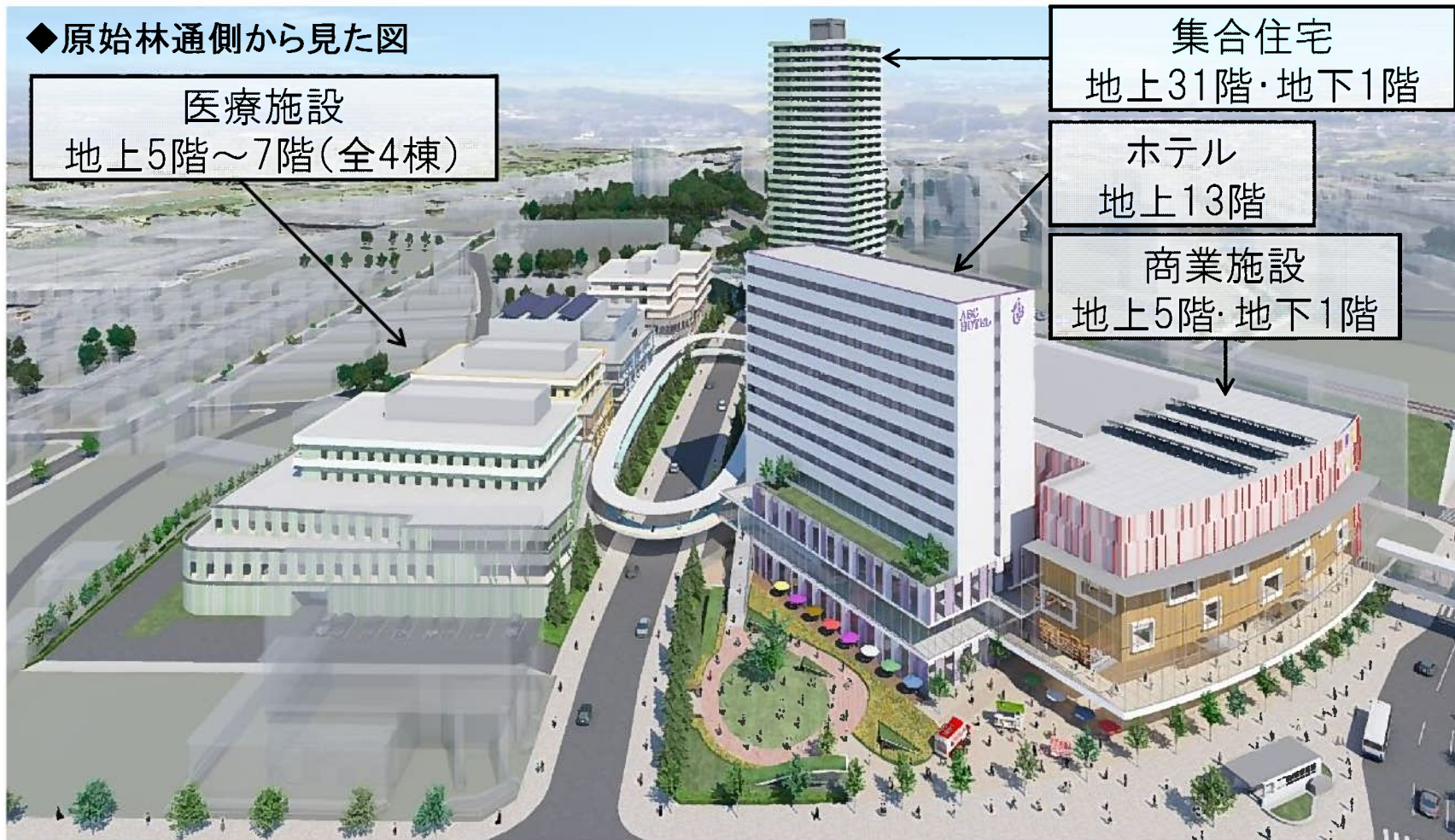
平成33. 4開業予定



- 地域に開放される多目的ホールや図書館機能を集積
- 多くの学生が集まることによるにぎわい創出や地域コミュニティへの寄与が期待

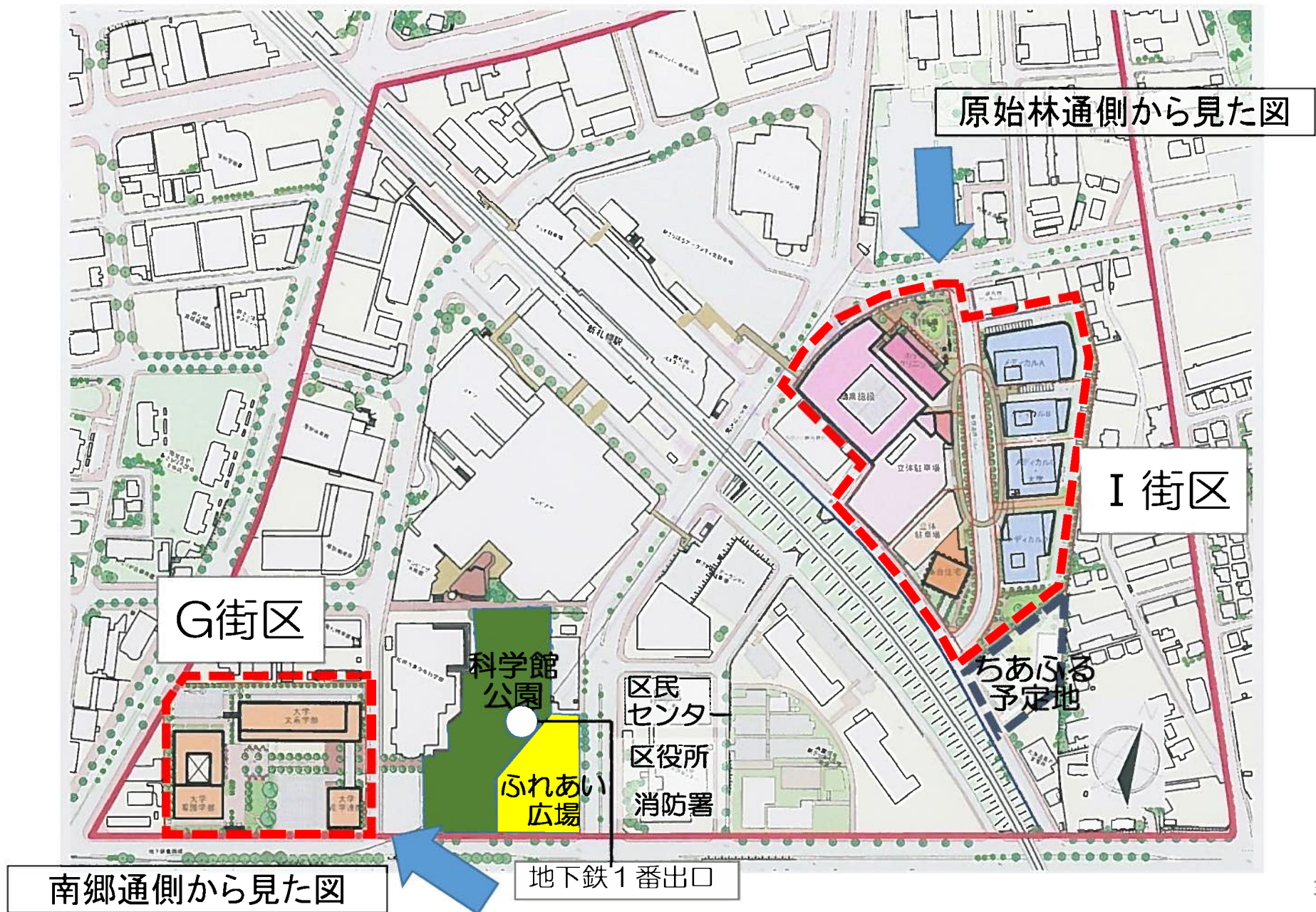
I 街区の開発（イメージパース）

平成34. 4開業予定



- にぎわいを生むプレイロットを2か所整備(ホテル前面/集合住宅後ろ)
- Gの人材育成との連携、先制医療機能の集積など、先進的なまちづくりに期待

周辺施設の位置関係（G・I街区完成後）

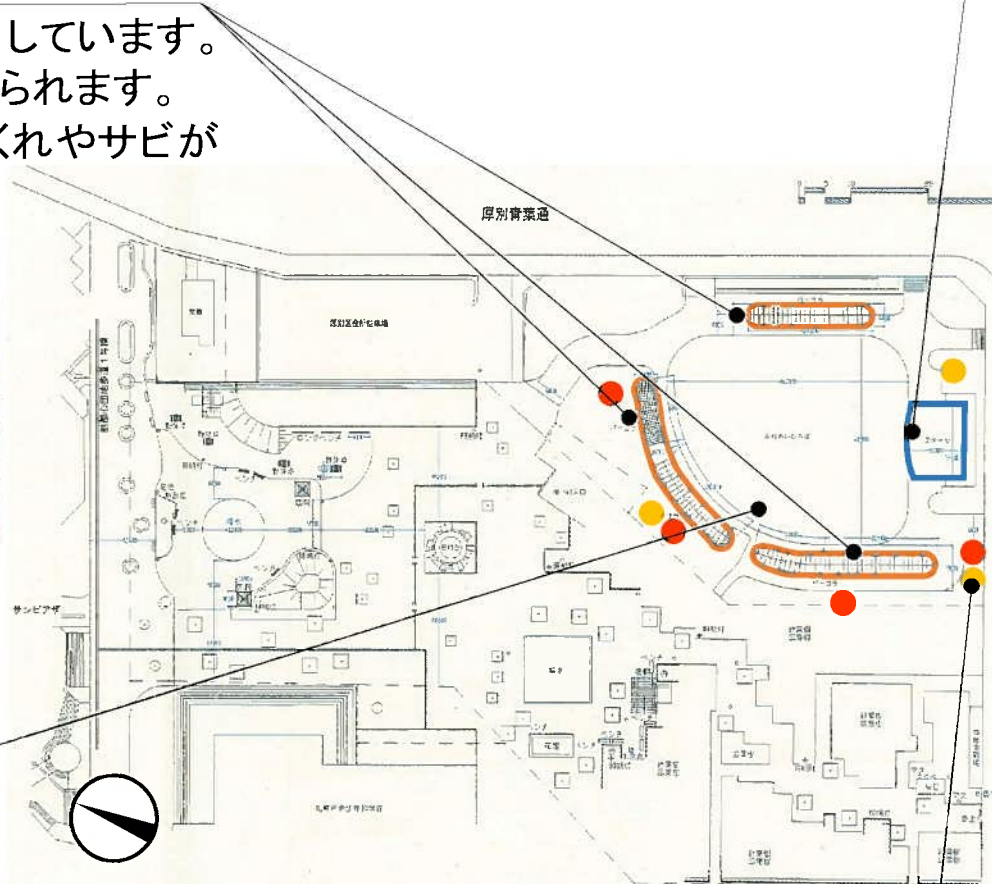


4. 現況と老朽化の状況

現況と老朽化の状況～広場①～

■パーゴラ(□)

- ・屋根材が劣化(白化)しています。
- ・軒先部分にサビがみられます。
- ・屋根のおさえ材にめくれやサビが見られます。



■舗装

- ・舗装の劣化による傾斜、ひび割れやデコボコが見られます。



■ステージ・テント(□)

- ・前方の骨組み(鉄骨)やテントの老朽化、破損などが見られます。
- ・ステージ床面・側面が劣化しています。
- ・ステージ天井の照明が故障しています。

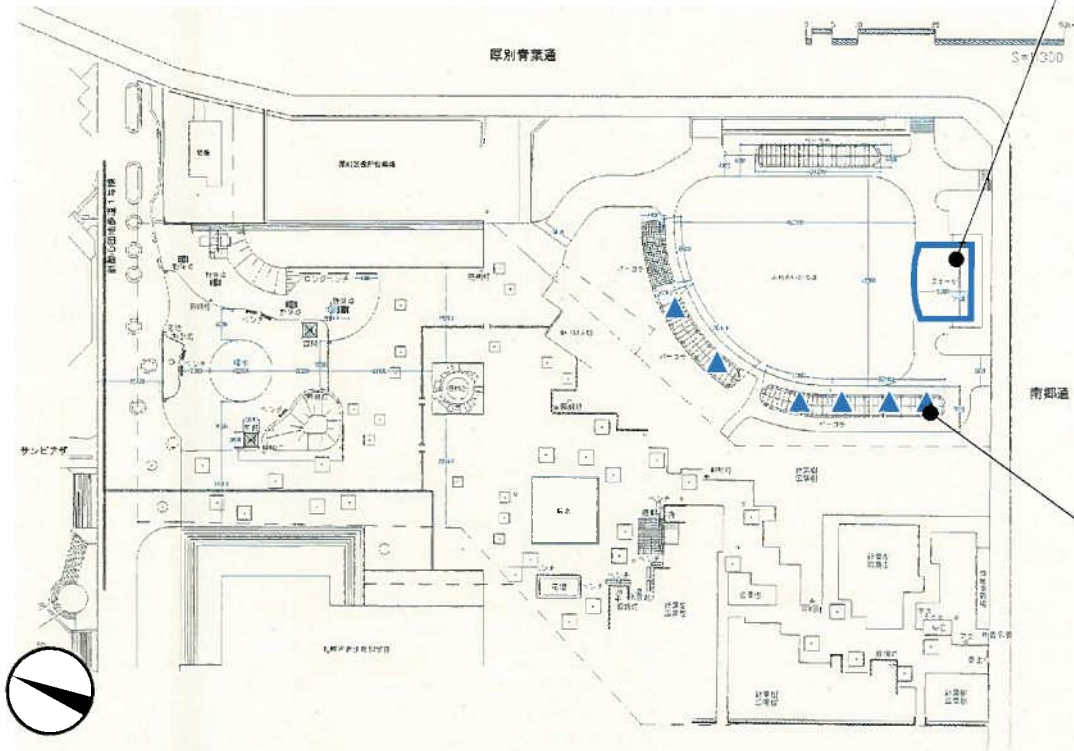


■照明(●)・スピーカー(●)

- ・柱部分のサビが見られます。
- ・灯具やスピーカーなどの設備の老朽化が見られます。



現況と老朽化の状況～広場②～



■ステージ地下

- ・空調設備、雨水ポンプなど設備の耐用年数が経過しています。
- ・イベント時の控室使用などで、スペースや間仕切り等がなく、利用しづらい状況が見られます。



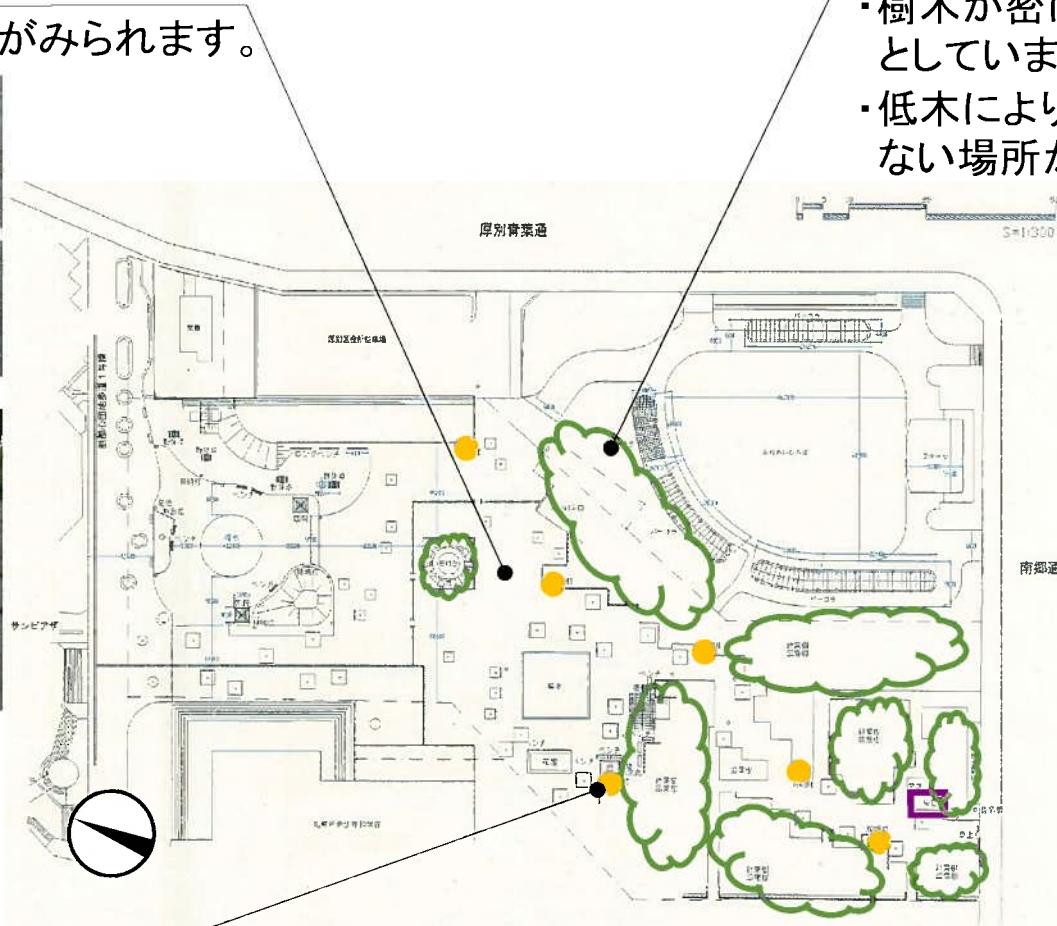
■地下水栓(▲)

- ・老朽化や使い勝手の悪さ(地下水栓からのホース接続など)が見られます。

現況と老朽化の状況～公園～

■舗装

- ・デコボコや欠けなどがみられます。



■樹木(☁)

- ・樹木が密に植栽されており、鬱蒼としています。
- ・低木により見通しが確保されていない場所があります。



■照明(●)

- ・照明の老朽化が見られます。

